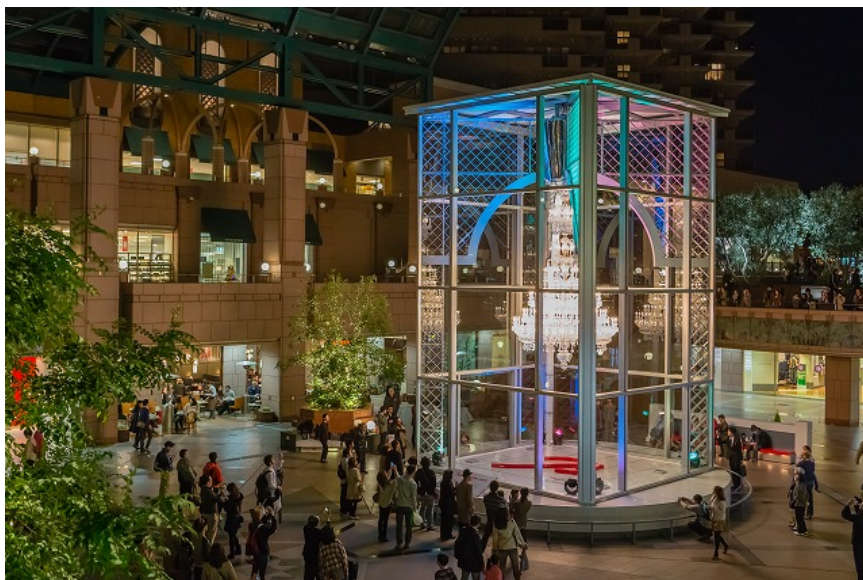


**恵比寿ガーデンプレイス『Baccarat ETERNAL LIGHTS -歓びのかたち-』
- アルミ製ショーケースを7回目のリユース -**



FA向けアルミ製機器製品および機械装置の設計開発、製造、販売会社であるSUS株式会社（静岡県静岡市、代表取締役社長：石田 保夫 www.sus.co.jp）は、恵比寿ガーデンプレイス（東京都渋谷区）にて開催される『Baccarat ETERNAL LIGHTS -歓びのかたち-』の特別協賛社として、世界最大級のバカラ シャンデリアを展示するショーケースをアルミで製作いたします。SUSがこのイベントに協賛するのは 8 年目となり、これまでに使用してきた部材をリユースするのは今年で 7 回目です。

アルミ押出材で作られた高さ 10m、幅 6m×6mの巨大なアルミ製ショーケースが、メイン展示となる重さ約 1.8 トンのシャンデリアを支えています。通常、鉄骨等の構造物は溶接を必要とするため、再利用には適さず、解体を前提として構築されています。しかし、アルミは精度が高くボルトによる接合だけで構造物を製作することができるため、組立や保管も簡便で繰り返し利用することができます。再利用を重ねることで、アルミの建築構造物としての高い強度や、優れたリユース性能を実証し、環境に優しい素材であるアルミの利点を示しています。

『Baccarat ETERNAL LIGHTS -歓びのかたち-』は 2013 年 11 月 2 日（土）から 2014 年 1 月 13 日（月・祝）までの期間、恵比寿ガーデンプレイス・センター広場をメイン会場に実施されます。SUSのアルミ製ショーケースと“光と音”による演出が、恵比寿エリアの冬の風物詩ともいえるバカラ シャンデリアの輝きを一層引き立てます。

-SUS(エスユウエス)株式会社 概要-

- 【本 社】 静岡県静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ6F
- 【東京事業所】 東京都中央区日本橋小伝馬町1-7 スクエア日本橋3F
- 【事業内容】 FA（ファクトリーオートメーション）向け機械装置およびユニット機器製品の設計開発・製造・販売。
アルミ製住宅および建築用アルミ構造物の設計開発、製造販売。
アルミ製家具およびアルミ建材の製造販売。

本件に関するお問い合わせ

SUS本社広報チーム：小倉／ 電話：054-202-2000 e-mail：k-ogura@sus.co.jp URL：www.sus.co.jp

【クリスマス・イルミネーション概要】

Baccarat ETERNAL LIGHTS

— 歓びのかたち —

- タイトル : 『 Baccarat ETERNAL LIGHTS —歓びのかたち— 』
- 主 催 : 恵比寿ガーデンプレイス、バカラ パシフィック株式会社
- 後 援 : 在日フランス大使館
- 特別協賛 : SUS 株式会社
- 会 期 : 2013 年 11 月 2 日(土)～2014 年 1 月 13 日(月・祝)
- ＜ライトアップ時間＞
- ・「Baccarat 250 灯シャンデリア」 12:00～23:00
- ※点灯式／11 月 2 日(土) 16:30～
- ※天候により、スケジュールが変更になる場合があります
- 会 場 : 恵比寿ガーデンプレイス・センター広場 (東京都渋谷区恵比寿 4-20)

【アルミ製ショーケースについて】

1.特別協賛にあたり

重さ 1.8 トンのバカラ シャンデリアを、「軽い・弱い」というイメージのあるアルミで吊るすことで従来のイメージを払拭します。また、これまで使用してきた部材を再利用した 7 回目のリユースに挑戦することで、アルミが建築の構造物として繰り返し利用できることを社会にアピールします。

2.アルミ製展示ケースの構造

中間に水平の補強部材を介在せずに、3 階建ての高さに相当する大空間をアルミ素材で製作することは、建築業界でも初の試みです。この展示ケースは、SUS 株式会社と山本理顕設計工場が共同開発したアルミ製ラチスパネル※を架構システムに利用しました。

ラチスパネルは、十字形の押出材をスライスした部材をトラス構造に組んでパネル化したもので、用途に応じてパネルの厚さを変えることができます。例えば比較的小さな建物では、幅(厚み)を薄くし、大きな構造物では逆に厚くすることで強度を自由に調節できます。このショーケースでは、これまで壁面としてしか利用されなかったラチスパネルの厚みを増やし、柱の役割を持たせることで、吹き抜けの大空間を実現できたわけです。



▲アルミ製ラチスパネル

※ラチスパネルとは

1.2m×1.2mを基本モジュールとするパネルを、ブロックのように組み立てて建築の構造壁とする架構システム。SUS 株式会社と山本理顕設計工場が共同開発。日本古来の「襷掛^{たすきがけ}文様」あるいは「なまこ壁」で馴染みの深い X 字型格子材の連続面をファサードのコンセプトとしています。構造物としては通常の壁部材、あるいはブレース部材並みの高剛性・高強度を持ち合わせています。

